

活動分野	森林環境教育		
タイトル	外房「東浪見（とらみ）」周辺の暖地性植物の観察		
実施日時	平成28年10月26日（水）10時～15時		
実施場所	長生郡一宮町		
受講者	24名	FIC会員他スタッフ	4名(FIC会員2名)

活動の内容：千葉市みどりの協会主催 自然観察講座

千葉県の天然記念物に指定されている一宮町の「軍荼利山（ぐんだりやま）植物群落」で暖地性植物を観察し、更に上総一宮駅へと続く里道をたどり、これも有名な玉前神社に参拝する約9kmのハイキングを楽しみました。

外房線の東浪見駅に10時集合、そこから10分ほどで「軍荼利山植物群落」に到着です。この森は、古刹「東浪見寺」の社寺林として古くから保護されてきたことと、温暖で且つ降水量も多いため、暖地性の植物が豊富に生育しています。これほどまとまった暖地性植物の自生地はこれより北には見られません。特に長年月を経たスダジイの巨木が林立する森は見事です。また暖地性のシダの宝庫でもあり、多くの方が「こんなにシダを注意深く観察したのは初めて!」とのことでした。



東浪見寺山門前



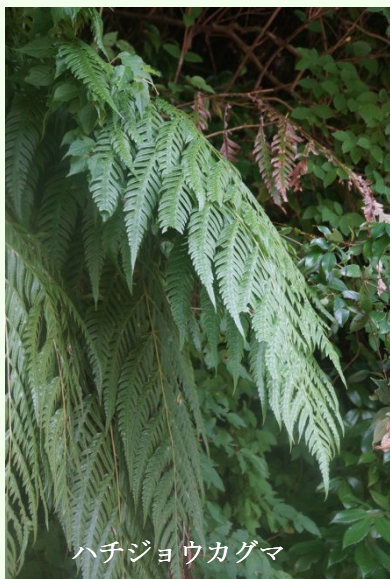
スダジイの森

軍荼利山を半周し一宮憩いの森で昼食、午後は一宮に向かってハイキングです。前半の山道ではここでもシダ類の観察や季節の花を楽しみ、更には素堀のトンネルをくぐったりしました。後半は梨畑が多く見られる開けた田園の道をたどって一宮の玉前神社に到着。

ここでは珍しいイヌマキの大木の群生や、ご神木のイスノキの巨木等を観察して、15時頃に解散しました。



シダの観察



ハチジョウカグマ



玉前神社のイスノキ（ご神木）



素堀のトンネルに行く